

Feb. 1963

|

May 1965

勇駒別

Feb. 2~3. 1963

旭岳 1500m 付近までウサギの
足跡あり(タケカンバ地帯) 但し
小型のウサギ。

アカエゾマツ喬木林内では
コエゾイヌネ、キツネ、ウサギ等の
足跡多く、撮影。

タケカンバ地帯でウサギの食痕
撮影。

勇駒別

Feb. 2~3. 1963

旭岳 1500m 付近までウサギの
足跡あり(クマカニハ地帯) 但し
小型のウサギ。

アカエリマツ喬木林内では
コエゾイタダ、キツネ、ウサギ等の
足跡多く、撮影。

クマカニハ地帯でウサギの食痕
撮影。

放流サケ稚魚の自然減耗調査
東大 松山義夫教授代表

Apr. 10 - 13, 1963

大槌川 1963

Apr. 9. 札幌発 13.10分

Apr 10 朝大槌着 曇 Apr 14 朝お祭.

(花巻一 ~~吉田橋~~ 橋の平野)
あり。モグラ採集の要

ワサセット 筆 (RI no mark 2500
P32 を使用 ^{0.5} RI mark 2200 放流
200 mc 1.0 (ヒレ切り 5000
2ヒレ切りぬき 4000)

Apr. 11. 晴

川筋

4ドリ 中

カシラガ

ホホジロ

セグロセキレイ

ハクセキレイ

トビ

ウミアイサ

カイワブリ 中

スヒバリ

クサシキ

シギ 中

スズメ

ハシブトガラス

イワフバ

(11日) (12日) (13日) (14日)

病院サシ上の ~~コ~~ 採 2 坊

ドウネズミ 106 ♂+ 130 ♂+ ♀-

ドウネズミ 137 ♂+

ハツネズミ 149 ♀P 129 ♂+

ハツネズミ 139 ♂+ <44 ♀P

安海橋下左

ハツネズミ 120 ♂+

安海橋上左

ハツカネズミ ~~103 ♀~~ ^{116 ♀}

大槌橋下右 ~~116 ♀~~

ハツカネズミ ~~116 ♀~~ ^{107 ♂} 105 ♀+

大槌橋上右

ハツカネズミ 142 ♂ 111 ♀+

ハツカネズミ 150 ♂ 118 ♀-

(11日 午後 20 万尾 流下)

安海橋下右

ドウネズミ 黒 黒 ♀-

上水道橋右

アハネズミ 125 ♂+

ヒミズ

♂+

11日:

ハコネス²の胃内容

2個体は緑草 100%

1個体は白赤い褐色をかいた草の茎、
根本の部分。100%

ハコネス²の♀1頭は Preg. fet. 5 (149)

♂2頭は testis 大 (120, 139)

12日:

ハコネス²の (<+小) Preg. fet. 3+

R.I. mark 4ヶ個をくわえてニジマス 1匹と4匹

ニジマス 1年子の大きさの差は

1年子の大きさの差は個体数の差に

関係あり。即ち、大きな1年子と

個体数を少なく、餌を多くすると

生長は早くなり、色も淡色(青色)

となり、しかし小さな1年子と

非常に密な古巣に入ると、餌を比較

的少量やつた場合(粗い粟の体形)

は、~~有利多量に~~有利やせると

有利は多量に)生長はあつた

12日

13日

~~14日~~

上水道橋左

アコネス²

源水橋下右

ヒメス

117♀

2頭♂♂

ヒメス

no. BW. TL T FF HF

♂ 394 19 125 30 10.5(13.5) 6. 18.5(17) 9x4.5^{*}

♂ 223 18 122 27 10.5(13.7) 6.3, 14.5(17) 6.5x^{*}

♂ 224 18 128 29 10.5(13.7) 5.8 14.5(17) 9x5^{*}

小形の色は、黒色が強い。

(Hubboの論文参照)

小形のものは体と比較して頭が大きい
く、胴が細く、内臓が小さい。体高が低い

大きな1年子のものは色も再び小体高

1年子に近くと色は再び黒色に

あつてくる。

森草の虫食跡は体重100gr 体高

20cm位のものがあつた。小さな1年子

の飼つた小形は老成のは2年目9。

最古

10月末のなつこもお前いきりたす
 いならな。 (11月にお荷) と23か
 大きなき22の生長のよいもの
 春は中々39年の10月末の体
 体重100gr ほどをいお荷に
 ような。 このことかす大木
 所並 魚鱗 鱗 比 場 とい 小
 なイマスと大きなきイマスの種
 のイマスに飼いの漸次小をい
 かし大きなきイマスへ変色
 している(2)で生長させ
 ている(2)一年ほどは同大の
 マスをお荷すことかできてい

Apr. 14. '63

花巻にてモグラ穴調査。
 水田畔にはハタネズミが
 多いらしくモグラは少い
 モグラ穴は37(中)×35(高)
 35×35mm 位でコモグラらしい。
 (盛岡の隣村ありとも岩手県岡か矢中)
 がよい

1969

大植川

1964, 4, 16-20

16日. ナテ放流を行わないので
 ナテのsetをせず 小雨
 コアリヒ
 マヒバリ
 イリシキ
 ツバメ 30~40の群 (イワツバメ×1羽)
 センガイイシ
 アオシ
 トビ

ノビタキ 5~6羽の群 2羽
 セグロセキレイ, キセキレイ

下木ジロ
 17日 曇
 安達橋上流にてミサゴ一羽
 ナテset 4時 / 5000放流
 7~9時 5羽に 79 再捕獲
 (mark)

18日 曇
 放流果附近にてヤマセミ 2羽
 ×20 20位の群
 午前4~7時 5羽に 39 (mark) 計
 118の mark 10羽か流下

体重
 58.7mm
 体長29
 の大形
 紺紫
 (mark)
 133

今日は雨量が大形の大雨
流下が非常の早し ~~子~~ 子見ると
停滞(存)し。

84年 a b の体重 0.5gr.

2012

うす 3 2羽

Apr. 19. 大黒川

422 (421)

BW 17.5

TL 127 T 30

RF 10.4 (14)

HF 14.3 (16.7) $\pm 7 \times 3$

1-2 (429) $\delta \pm$

BW 41

TL 168

T 47

RF 10 (11.6)

HF 18.8 (21) $\pm 11.5 \times 7$

E 11.5

(410) $\delta \pm$

BW 31

TL 157

T 42

RF 9.7 (11.2) $\pm 10 \times 6$

HF 19.7 (20.8)

G 16.5

Apr. 19

ハタ (467) ♀+

BW 31

TC 150

T 43

HF 9(10.9)

HF 12.5(19.5)

E 11.3

Ret ♀ (14mm)

(439) ♀+ (カ)

(455) ♀+

BW 20

TC 135

T 39

HF 2.5(9.7)

HF 17.8(19.4)

E 11

左岸 180 1912 20日計

放流直~大槌橋

ハタネズミ 1 2 1 4

ハツネズミ 0 1 0 1

ヒミズ 4 0 0 4

大槌橋~宇治橋

ハタネズミ 1 2 2 5

ヒミズ 1 1 2 4

宇治橋下 0 0 0 0

右岸

浮水橋~大槌橋

ハタネズミ 2 1 1 4

ヒミズ 1 0 1 2

ヒミズ 1 0 1 2

大槌橋~宇治橋

ハタ 2 2

ヒミズ 1 1

計

ハタ 15

ヒミズ 3

ヒミズ 10

ハツカ 1

29

20A
CZ 24 (451) ✓

BW 16.5

TL 123

T ~~20~~ 28

FF 9.3 (12.0)

HF 13.5 (16)

(485) ✓

BW 18.5

TL 124

T 30

FF 10.7 (14.3)

HF 15 (17.5)

(499) ✓

BW 19.5

TL 128

T 30

FF 8.7 (13)

HF 14.2 (16.5)

$$\frac{23}{19.5} 1.2$$

$$\frac{18}{18.5} 1.7$$

$$\frac{24}{18} 1.5$$

T 204

1.2 (416) ✓

BW 20 8-

TC 131

T 33

FF 9.5 (11)

HF 18.2 (20.5)

G 10

(474) ✓

BW 28

TC 106

T 40

F 10 (11.8)

H 19 (20.8)

E 11.5

(406) ✓

BW

TC 147

T

F

H

G

75.5 x 3.5

1963

石狩太美

May 19日 (才1回) 快晴風強

エリリスの巣撮影

キジバト抱卵中。巣と卵、ヒナ

コウライビロウの巣と卵ヒナ

石狩太美

May 26 快晴

キジバト抱卵中再び撮影 (2回)
(8ミリ、ネガカラー)

カツコウ 現小子

143 林班

6

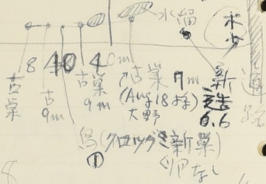
アズビ
シユウカク
アリス

キジバト 9m 中

古学

大美 駅通り

十二の線 基線



新学 9.3

十二の線 基線

原土 (30cm 厚)

新学 7.8m

古学 7m

古学 9m

古学 9m

古学 9m

5.0

古学 9.8m

古学 9.8m

古学 9.8m

十二の線 基線

新学 6.8

古学 6.5

古学 6.5

古学 6.5

古学 6.5

古学 6.5

古学 6.5

古学 6.5

古学 6.5

古学 6.5

古学 6.5

古学 6.5

古学 6.5

古学 6.5

古学 6.5

古学 6.5

古学 6.5

古学 6.5

古学 6.5

古学 6.5

古学 6.5

古学 6.5

古学 6.5

古学 6.5

古学 6.5

古学 6.5

古学 6.5

木

古学

古学

古学

新学

新学

新学

新学

新学

新学

新学

新学

新学

新学

新学

新学

新学

新学

新学

新学

新学

新学

新学

新学

新学

新学

新学

新学

新学

新学

新学

新学

新学

新学

新学

新学

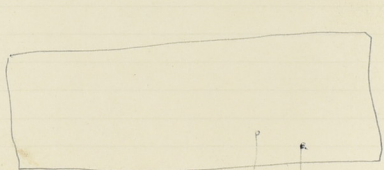
新学

新学

7.5m 使用 (一時的)

二羽頭のみに
ハトの草は
同じ下の60cm下

新学 8.5



古学 9.8m

古学 9.8m

大善園

②
クワック学卵1
24

不明学 SIPなし
Jun. 9

雲
行

新
道
学

6
(Aug 18 採取)
大野

井
3.2
29p
Jun 9

ヤマゴウモリ

植物園内にて飛下り中のもの

4~5 頭み

May 29 1983 曇

June 4 午後 7時 10分頃 (うす曇)

8 頭ばかりの飛下りをみる。

野幌学始村

June 5. 1967

ムクドリ、コビエウガウ 育雛中

コビエウガウ 草摺影

石狩太美 June. 9. '63

快晴後曇強風

太美神社内

トトマツ エリリス 草 6m

10m 此は太美神社トトマツ 5m 高さで

樹冠今新しい草(完全)

ハシガラス

~~草~~ 草中トトマツ 7.3m

ガラス草 6.0

草 5m

ガラス草 6.7

完全草 5m



エリリス 完全草 6.7

ガラス中草 7.3

エリリス 草使用中 一部のみ

比較的

新しい草 5m 10m

草 6m

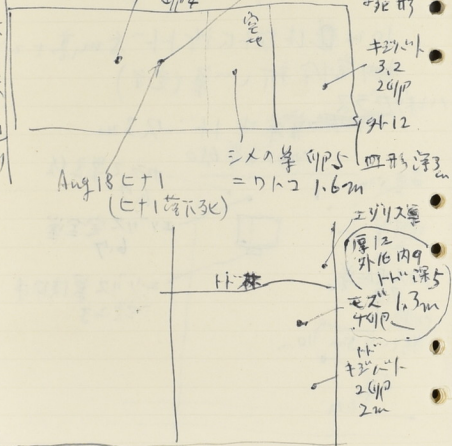
フロッグの巣卵 (May 26 産卵②)

卵4個と成り抱卵中

高さ2.4 トト 外1.5 内0.9 深6

コケ類 フロッグ卵 不明巣卵なし 抱卵形

大田川



Aug 18 ヒナ1 (ヒナ1落ち)

エゾリス 厚1.2 外1.6 内0.9 トト深5 毛2 1.3m 4卵

エゾリス 厚1.2 外1.6 内0.9 トト深5 毛2 1.3m 4卵

トト 3.2 20卵 2m

大田川

川

1

北

運木地

巣5.4

アハヒ 巣トト 1.65 4卵

巣材 木草

古巣5.5 IY 112 巣新道 5m

Aug 18 採取 大野

石狩太美

Jun. 16 '63 快晴

前日曜 雉のシメ 9卵1ヒナ1
他なし

クログクミ 全部4卵にし 羽毛半分
りはふている

アカハネ 5卵をふてている

モズの等6卵をふて

アカモス 5卵をふて

アカモス 6卵をふて

石狩太美

ササ原のアカモス 雉のシメ 給餌中
巣をふていふらしい

モズ, アカモス, コシキリ, アシ
等多数捕ら, カラネカ, 甘藷

北海道クログクミ会議 (保護専門部
Aug 2. 採試 (野鼠) 会)

議題

1. 生息数と被害程度
2. 推定生息数と捕獲実数
3. 春の野鼠発生状況と被害
(情報交換)
4. 夏の野鼠発生状況
5. 秋の野鼠防除対策
6. 野鼠の被害状況と捕獲状況

餌づけを行わないで5日間の捕獲
を行って実数で示す

Aug 18 石狩太藁

大野先生. ヒビ. アカズ
アカハ. 7077. シメ. リス等
の葉を採集

Jun 9. 発見不明葉輪形卵巣

葉に ~~アカハ~~ アカハヒナ1 きの
地地上に同じ大きさのヒナ1
落下死を2つの子の発見.
1日以内の死体

キジバトの葉. — リスの葉の上
に (1) 死体の卵 1. 3. 以後
見えないヒナ1.

石狩太藁 Mar. 15 '64 藁

石狩太藁別所宇獅子内 雪田国有林
リスの巣 保安林

外 エゾマツ 朽枝
内 ササキ 葉のみ

エゾマツの枝の先端をくり切つ
て葉の欠を食害したものが
雪上の葉々と散乱している

エゾリスと思われし 雪上のエゾ
リスの足跡を確認
らサギもいる

獅子内神社境内のエゾマツ

にごく新しいリスの巣あり

外側には長い藪をのこす ~~エゾマツ~~

小枝が使つてあり。また境内の
~~エゾマツ~~ エゾマツの芽も大量にくり
わている

コガウの群 (5~6羽)

太美 Apr. 5 '64 晴
モス、ヒガウ 吉野君と生い
ヒバリ(サエズリ)

カワラヒワ

ミンサザイ

コガラは全くみない。山に

はいつたらし

エビエウカウ 4羽 5羽

ヒガウの群

カシラタカ 2~3羽

ハヤブサ

植杉園にて野鳥撮影
Apr. 12 '64

○ エビエウカウ

ゴビエウカウ

ヒガウ

ヒヨドリ

アカゲラ

スズメ 筆打ヒワ

コカワラヒワ

午後清田へ

カシラタカ 2~3羽

ヒヨドリ

モス

モジバト

ムクドリ

カワセミ

ヤマカ³ 1羽
地協園にて高野神社
June. 19 '64

野宮神社 May 3. '64
コゲラの撮影

コカウ. コカウ, ヤマカ³ 9羽
コサメコサメ. エビコカウ.
ヒヨドリ, ヒヨドリ. オオビロコ
センドイヒシクア. ヤブサメ

広島村. 北里. サギの森
May 5. '64 快晴

オシドリ 6羽
コガエ 6羽
マカエ 6

コヤウ

アオサギの巣撮影

コウクトリ 1

アオビロコ

アカハシ

1964

May. 10 池坊園内にてコウゾトリ
ミヅエウカラを撮影

May 11. 池坊園内にてコウゾトリ
コサメビタキ、ハシロトカラス、ウヅトリ
クロツグミを撮影

May 18 晴 園内にて

コサメビタキ モンツクイロクイ 撮影
カツコウ(1) キビタキ(1) 見

5月末頃からメボリが豊富に現れ
6月始めには盛んに鳴りを始め
29日頃エゾウグイも現れ

6月7日 園内にてフクロツグミの
巣を近接して見た

29日頃エゾウグイの鳴声は
盛ん。メボリ、コサメビタキ
も多し

ハシロアマガミも多し

6月14日、コウゾトリ等類、総合撮影

6月16日 // 巣を撮る //

Mar. 28. 65 太美 雲 (寺前)
リスの巣) 撮影

1ツグミ

トビマツ エンペリウチ 完全掌握使用中
他の一つは樹洞に作られたもの
一本の木の上部と下部の2ヶ所

附.

Apr. 4 1965 藤の沢

神社 (山の神)

ハシロツグミからスズメの巣1
親が巣材を運ぶ様子

神社 ヤマザクシの芽をくわす
と蕾をさした芽 撮影

大森 Apr. 18 '65. 晴(南)
キジバとナニゴロフナ(成)

コナツシロウチ, ミヤサキイ
ウシドリ, モス

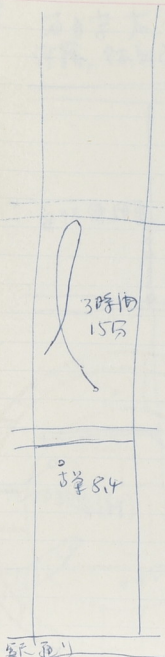
カラス 424ダシボウ

エゾリス 午前10時より午後1時

15分頃迄 追跡観察。この間

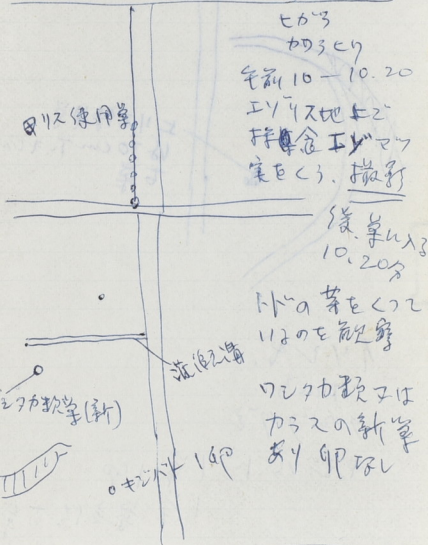
おと^{トウ}とナニゴロフナの葉を掘る。

(撮影) この後も掘るを続
けたものと思ふ。

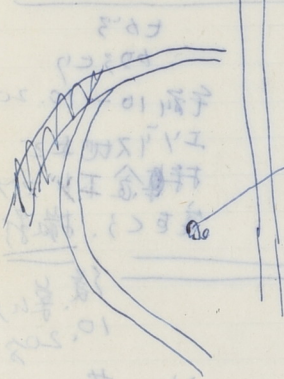


おと 5.4

石分字古妻 May 16 '65 晴
伊藤, 阿部, 家族, 学生. (頭)



Handwritten notes at the top of the page, including a circled character (possibly '回') and some illegible characters.



上112号用字
 1830cm下キリト
 古学

142号
 P113
 42443

キリト 1号 1号
 1号 1号 古学